

回									
覧									

丘珠空港ニュース

第5号（平成19年3月23日）
 発行：札幌市市民まちづくり局
 企画部企画課
 電話：211-2192

「丘珠空港緑地北西北東地区」 が事業着手となりました

当緑地は、平成17年4月に発行しました前号において、「基本計画（素案）」をお知らせしていましたが、その後、同素案をベースに検討を加え策定した「基本計画（案）」について、「地元意見交換会」を開催した後、「第13回丘珠空港周辺のまちづくり連絡協議会」にお諮りし、それぞれ、市民の皆様、委員の皆様からその計画内容についてご理解をいただき、「基本計画」として確定させていただきました。

その後、都市計画審議会の審議を経て、昨年12月13日に都市計画決定され、今年1月5日に北海道より事業認可を取得し事業着手となりました。

なお、丘珠空港緑地全体の整備完了には、現在のところ、今後10年程度の期間を要すると考えています。

◆丘珠空港緑地北西・北東地区の基本計画概要について

基本的な考え方は、前号でお知らせしました南東地区の考え方を踏襲しており、緩衝樹林帯と築堤を緑地の縁辺部に配置することにより、空港からの騒音・排ガス等の拡散防止という緩衝機能と防風雪機能を確保します。また、オープンスペースを活用し、スポーツエリアやイベント広場、駐車場などを整備するとともに、大雨時に河川の排水機能を補完するための雨水貯留池（通常時には水は溜っていません）も整備します。



[丘珠空港緑地配置図]



[北西地区基本計画図]

駐車場については、緑地の施設構成に応じた規模である130台程度分を整備する計画ですが、駐車場に隣接する多目的広場についても、「つどーむ」のイベントの際には、臨時駐車スペースとして活用できるようにし、周辺地域の迷惑駐車対策として計画しています。

緑地内一円には、南東地区から北西地区まで散策できる散策路を配置するとともに、散策の途中に休息し飛行機等を眺める場所として、展望広場を整備する計画です。

スポーツエリアについては、この区域には航空法による高さ制限があるため、その範囲内で利用できる施設として、ストリートバスケットコートやマウンテンバイクコースなどを計画しています。



[北東地区基本計画図]

◆丘珠空港緑地南東地区の整備状況について

先行して整備を進めています南東地区は、現在、平成23年度の完成を目指し敷地の造成（盛土、掘込）等を行っています。

苗穂・丘珠通から東のパークゴルフ場エリアについては、平成19年8月頃オープンする予定です。

